

連携室だより

北海道社会事業協会小樽病院 地域医療連携室
小樽市住ノ江 1-6-15 TEL0134-21-5717 (直通)
第 11 号 平成 23 年 10 月 31 日発行

東日本大震災 被災地ボランティア報告

平成 23 年 9 月 9 日(金)～11 日(日)まで私、鴨崎が宮城県石巻市へ医療ソーシャルワーカーとして被災者支援を行って参りましたので、ご報告させていただきます。



私が所属している『公益社団法人 日本医療社会福祉協会』では、東日本大震災発生後の 4 月 2 日より、宮城県石巻市にある福祉避難所「遊楽館^{ゆうがくかん}」を拠点とする災害支援活動を行っており、毎日 3～5 名の全国から有志の医療ソーシャルワーカーが派遣されていました。「人手が足りない！！」との情報が入ったため、以前より「機会があれば行きたい！！」と思っていたこともあり、思い切って参加することと致しました。

新千歳空港より仙台空港まで 1 時間。仙台空港を出ると、震災から半年が経とうとしていましたが、JR が高架上にそのまま止まっていたり、海に近い場所ではいまだに生々しい爪跡は残されていました。空港の駐車場に停まっている車がおもちゃのように流されている映像を何度も見ていたので、空港と海の距離が近いのだろーと思っていました。しかし、実際には海から空港までは何百メートルも離れており、海からそれだけ離れていても勢いは衰えることなく津波が襲ってきたことがわかり、恐ろしい気持ちになったことを覚えています。空港からは JR を乗り継ぎ、揺られること 2 時間で遊楽館へ到着。

石巻市は人口は約 16 万人の都市で、仙台市の次に大きな都市です（ちなみに小樽の人口は約 13 万人）。一番被害の大きかった宮城県全体の死者の 1/3 は石巻市であることから被害の大きさがわかります。

福祉避難所である遊楽館は石巻市が建造したコンサートホールやプール、体育館のある複合施設で、その体育館の部分を利用して福祉避難所として使用されていました（右の写真）。



皆さんダンボールのベッドなどで過ごされていました。

私が行った当時の避難者は26名。一時期は120名ほどいたそうですが、9月末で避難所が閉鎖されることになっていることから、大半の方々はすでに退所されていました。残りの26名も、仮設住宅や施設など行き先が決まっており、我々の業務はその方々が、退所後も安心して暮らせるように援助することでした。参加した3日間は息つく暇もなく、あっという間に過ぎてしまい、自分は何か役に立てたのだろうかと思いましたが、そこに集っていた方々に励まされ、何とか職務を全うすることができたのではないかと思います。今後は仮設住宅に移った方々の支援が長期間に渡って必要になります。機会があれば再度参加したいと思います。



(文責 医療ソーシャルワーカー 鴨崎)

無料巡回診療へいってきました。

去る10月16日(日曜日)、「小樽協会病院 無料巡回診療班」一行8名は、仁木町銀山生活改善センターで無料巡回診療を行ないました。

無料巡回診療とは、社会福祉法に基づき、地域に訪問して診療などを行なうものです。

小樽協会病院としては、後志管内で年2回地域住民の健康管理のために乳がん検診、心電図・ABI検査、血液・尿検査などの健康診断を無料で行っています。今年の仁木銀山地区では、あいにくの雨模様でしたが、33名もの地域住民の方々にお集まりいただき、無事診療を終えることができました。ご協力いただいた、仁木町の保健師さんにも感謝です。

次回の巡回診療は、12月に神恵内村で行なう予定で準備をはじめています。たくさんの方が来てくれるとうれしいなあ…。



おしらせ

☆ 消化器内科 外来

現在、火曜日・金曜日が休診になっています。受診の際は、休診等あらかじめご確認ください。

☆ 小児科 外来

10月1日より外来診療担当が、一部変更になっております。診療予定表をご確認ください。



編集後記：何でも美味しい季節になりました。体重増加に注意ですね。

ところで、遅ればせながら、ウチの部署の一部で『ワンピース』がブームになっています。読書の秋ですしね…。(や)